



花菖蒲の絵

旧玄関を背にして正面の壁面に描かれている見事な花菖蒲も来館者を楽しませてくれる見どころの1つ。開館を記念して描かれたもので、花菖蒲は葛飾区の区花です。



土蔵

山本亭の中でもっとも古い建造物ですが、正確な築年数は明らかになっていません。大壁造りの土蔵は重厚な佇まいです。



長屋門

武家屋敷に見られる伝統的な形態でありながら、窓にはステンドグラスが輝き、床にはタイルが敷かれ、とてもモダンな印象のある長屋門です。当時の建造物の流行を見ることができます。



ずっと眺めていられる美しい庭園。取材当日は雨だったが、水を含んだ緑は一層深みを増し、味わい深いものがあった。

建造物の造形美にも注目

壁などの遮るものを最小限に抑えた和室から眺める景色を「自然な美しさを大切にしたい庭園です。お抹茶やぜんざいなど喫茶メニューを楽しみながら、時間を気にせずゆっくりとお過ごしください」と井上さんが話すように、来館者の多くは、静かに庭園と向き合う時間を満喫されるそうです。

また山本亭は庭園だけでなく、伝統的な書院造の随所に洋風の意匠を取り入れた建造美も見逃せ

ません。「例えば『鳳凰の間』は、窓にステンドグラスをはめ込んでありますが、天井は漆喰で仕上げがあり、床は寄木という和洋折衷で凝った造りの洋間です。昭和初期の建築学の歴史を知るうえでも貴重な建造物です」と井上さんが教えてくださいました。

居宅を出て長屋門を見学した後、目の前に広がる江戸川の河川敷まで足をのびし、心地よい風を受けながら春を感じるのもおすすめです。柴又帝釈天の桜が見頃を迎えていれば、なおのこと楽しい散策になるはずです。



邸内で唯一の洋間であり応接間として使われていた「鳳凰の間」は、玄関脇に設けられている。当時としては斬新な配置だった。

海外からも評価される座観式庭園

本誌1月号で紹介した葛飾柴又寅さん記念館と山田洋次ミュージアムから目と鼻の先にある山本亭は、カメラ部品を製造していた故・山本栄之助氏の住居として建てられたものです。この場所には以前、江戸時代後期から

瓦製造を行っていた鈴木家の住居と工場がありました。関東大震災（1923年）が起きたことで鈴木家は看板を下ろします。その跡地に移り住んだ山本氏は、近代和風建築と純和風庭園からなる住居を整備しました。そして1988年に葛飾区が取得し、1991年から一般公開されています。今月はこの山本亭を広報

シニアライフ・コンシェルジュが案内する 都内の名処



写真提供
山本亭

近代和風建築・純和風庭園

CHAPTER
17

山本亭

東京に観光名所は数あれど

あまり知られていない

穴場スポットは数多く存在します。

そんな「都内の名処」を、

シニアライフ・コンシェルジュ

藤野政史がご案内します。

今月は、京成金町線柴又駅より

徒歩8分の「山本亭」に

出掛けてみましょう。



ふじの まさふみ
藤野政史

グローバルライフ株式会社
代表取締役

シニアライフ・コンシェルジュ

シニア世代の皆さまが楽しく、笑顔で、遊び、学ぶ、集う会「グローバルライフクラブ」を運営。

「都内の名処」を募集中!

グローバルライフクラブ 検索

0120-70-0202

の井上さんに案内していただきました。

和室に腰を下ろして庭園を眺めると、滝や錦鯉が

泳ぐ池を配した約270坪の庭園の優雅な姿が広がります。「山本亭は座観式の日本庭園なので、座って庭を眺めていただくよう設計されています。目線を変えると見える景色が変わるんです」と井上さん。山本亭は100円という入館料で気軽に訪ねることができ、庭園でありながら、アメリカの日本庭園専門誌『Sukiya Living Magazine: The Journal of Japanese Gardening』が発表している2019年「全国の庭園ランキング」では第4位に、調査がスタートした2003年から東京23区内の庭園では唯一、常に7位以上にランキングしています。



庭に向かって左から鳥・雪・風・星・月・花と6つの和室が並ぶ居宅。一番右の花の間の床柱を背にして眺めるのが一番美しくなるように設計されている。

山本亭

■所在地／東京都葛飾区柴又7-19-32

■電話番号／03-3657-8577

■最寄駅／【電車】京成金町線「柴又」駅より徒歩8分

【バス】京成バス 金町駅-小岩駅(小55)「柴又帝釈天」より徒歩7分

■開館時間／午前9時～午後5時(入園は午後4時30分まで)

■休館日／第3火曜日(ただし第3火曜日が祝日・休日の場合は、直後の平日)、12月第3火・水・木曜日

※年末年始は開館しています。

■入館料／100円(中学生以下および障害者手帳持参の方と介護者(同行者)1名は無料)。(寅さん記念館&山本亭セット料金)一般 550円、シルバー 450円、団体(一般) 450円

※駐車場はありません。江戸川河川敷の駐車広場をご利用ください(有料)。